

**山形県次期総務事務システム等に係る要件定義支援業務  
公募型プロポーザル方式による企画提案審査要領**

## 1 審査基準及び審査方法

- (1) 審査は、提案者の提出資料及びプレゼンテーションにより行う。
- (2) 審査項目は、別紙「企画提案審査基準」（以下「審査基準」という）のとおりとする。
- (3) 採点は、審査基準に掲げる評価項目ごとに「2 配点及び採点基準」に定める採点基準に従い評価し、項目の重要度に応じた係数を乗じて、採点を行う。
- (4) 採点の結果、審査委員全員の評価点の合計点数が高い順に、最優秀提案者及び次点者を選定する。ただし、最高点の者又は次点者が複数いる場合は、審査員の合議により決するものとする。
- (5) 採点の結果、最優秀者に係る審査委員全員の評価点数の合計が、評価項目の最高得点の合計の5割に満たない提案は決定を見送る。
- (6) 提案者が1者のみの場合であっても審査委員の評価結果により、提案の内容について契約の目的を十分に達成できるものであると判断できるときは、当該者を最優秀提案者として選定する。

## 2 配点及び採点基準

100点を満点として、項目ごとの配点及び係数は審査基準のとおりとし、採点は下記を目安とする。

非常に 優れている	優れている	普通	やや 劣っている	劣っている
5	4	3	2	1

## 別紙

## 「企画提案審査基準」

## 山形県次期総務事務システム等に係る要件定義支援業務

評価項目	審査の視点	評価 a	係数 b	配点 a*b
<b>基本事項</b>				<b>15</b>
(1) 会社概要（様式4）	<ul style="list-style-type: none"> <li>十分なバックアップ体制をとることが可能か（従業員数、関係会社等）</li> <li>本業務を実施するうえで有用な資格を保有しているか（プライバシーマーク、ISMS 認証）</li> </ul>	5	1	5
(2) 類似業務受託実績書（様式5）	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業者としての受託実績は十分か</li> </ul>	5	1	5
(3) 業務実施体制及び業務従事者の業務実績、保有資格（様式6）	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務従事者は十分な業務実績を有しているか</li> <li>業務従事者が業務上有用と認められる資格（「IT コーディネータ」「PMP」「プロジェクトマネージャー」等）を有しているか</li> <li>代替要員が確保されているか。</li> </ul>	5	1	5
<b>提案事項</b>				<b>85</b>
(1) 事業の方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>本県の実情を的確に捉え、本業務の目的を正しく理解し、事業の成果が期待できるものとなっているか。</li> </ul>	5	1	5
(2) パッケージシステムをベースとした開発の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>パッケージシステム導入のメリットやデメリットを正しく理解しているか。</li> <li>業務負担削減や拡張性などへの言及があるか。（開発・運用コストの削減等に偏ったものとなっていないか）</li> </ul>	5	2	10
(3) 現行システムに関する課題及び次期システムに対する要望等の対応の整理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行システムの課題の把握・整理・分析の手法が具体的に示されているか。また、その手法は効果的で妥当なものか。</li> <li>調査等に協力する職員（システム利用者）の日常業務への配慮があるか（過度な負担が見込まれないか）。</li> </ul>	5	2	10
(4) 課題及び要望等の対応に対するパッケージシステムをベースとした解決策の整理について	<ul style="list-style-type: none"> <li>解決策の検討手法が具体的に示されているか。</li> <li>解決策の検討にあたり、現在業務との親和性や連携する他システムとの整合性を踏まえた視点などがあるか。</li> </ul>	5	2	10
(5) 現行の運用とパッケージシステムによる運用の相違への対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>想定するパッケージシステムにない機能について、カスタマイズや現実的な業務見直し（職員負担増とならない業務改善）などによる代替手段を検討するものとなっているか。</li> </ul>	5	2	10
(6) パッケージシステムをベースとした課題の解決策等の関係者間の合意及び開発方針の立案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>解決策（代替手段含む）案について、メリット・デメリットなどの判断基準を記載するなどの工夫が具体的に示されているか。</li> <li>開発方針の立案にあたってのポイントが具体的に示されているか。</li> </ul>	5	1	5

(7) 総務事務システムにおけるシステム利用者の利便性向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な総務事務パッケージシステムの利用による利用者（一般職員）の利便性向上について具体的に示されているか。</li> <li>その内容は本県の実情を踏まえて期待できるものか。</li> </ul>	5	1	5
(8) 総務事務システムにおける集中処理部門の効率化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な総務事務パッケージシステムの利用による集中処理部門の作業負担軽減に資する効率化について具体的に示されているか。</li> <li>その内容は本県の実情を踏まえて期待できるものか。</li> </ul>	5	1	5
(9) パートタイム会計年度任用職員システムにおける所属担当者及び集中処理部門の効率化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的なパートタイム会計年度任用職員システムのパッケージシステムの利用による利用者及び集中処理部門の作業負担軽減に資する効率化について具体的に示されているか。</li> <li>その内容は本県の実情を踏まえて期待できるものか。</li> </ul>	5	1	5
(10) カスタマイズ費用を含めた開発費用の立案について	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用の見積方法を具体的に示しているか。</li> <li>ライフサイクルコスト、パッケージシステムのカスタマイズ経費に加え、業務コスト（職員負担）の視点も踏まえたものとなっているか。</li> <li>その内容は本県の実情に応じたパターン of 想定ができていないか。</li> </ul>	5	2	10
(11) カスタマイズにおける費用負担軽減の考え方について	<ul style="list-style-type: none"> <li>カスタマイズ経費を軽減するための考え方が具体的に示されているか。</li> <li>その内容は本県の実情を踏まえて期待できるものか。</li> </ul>	5	1	5
(12) その他、必要と思われる事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>上記提案事項以外に本業務の目的に資する有用な提案があるか。</li> </ul>	5	1	5

計100点